

HTTPDest 説明書

目次

1、はじめに	2
2、機能概要	3
(1) HTTP リクエスト振り分け機能	3
(2) 振り分け定義ファイル読み込み機能	3
(3) コマンド入力機能	3
(4) ログ保存機能	3
3、インストール	4
4、起動	4
5、振り分け定義ファイル	5
6、コマンド	7
7、ライセンス認証及び送金方法、金額について	8
8、不具合等の連絡先について	10
9、最後に	10

1、はじめに

この説明書は HTTPDestV01L01 の機能及び操作方法について記述いたします。

HTTPDest は、ネットワーク上では 1 台の HTTP サーバーとして稼働します。Web ブラウザ等から受信した HTTP リクエストを複数の HTTP サーバーへ振り分けを行うソフトウェアです。Web ブラウザ側からは、1 台の HTTP サーバーが稼働しているように見えます。

HTTPDest は一般的なユーザーが Windows PC 上で手軽に稼働させられるよう作成しています。よって、一般的な Windows 用ソフトウェアと同様に Windows にユーザーがログインした後、起動して使用します。（要望があればサービスとして稼働するものを今後作成するかもしれません。）

HTTP リクエストの振り分けは受信した HTTP リクエストに含まれる URL をもとに行います。よって、HTTP リクエストが暗号化されている HTTPS プロトコルは使用することが出来ません。

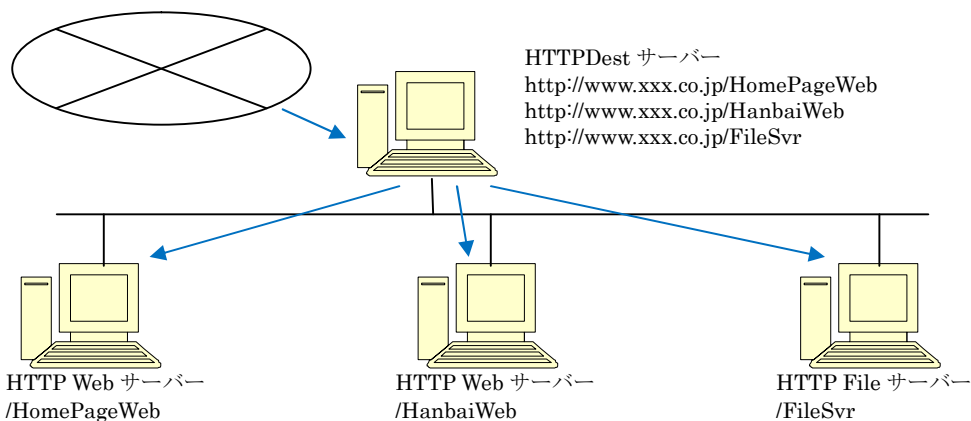
2、機能概要

SRCDest の基本的な機能は以下の通りです。

- HTTP リクエスト振り分け機能
- 振り分け定義ファイル読み込み機能
- コマンド入力機能
- ログ保存機能

(1) HTTP リクエスト振り分け機能

HTTPDest は振り分け定義ファイルに定義されている情報 (URL 等) をもとに HTTP リクエスト振り分け処理を行います。振り分け先として IP アドレス、ポート番号を指定する為、同一 PC にインストールしている HTTP サーバーに振り分けることも、別 PC の HTTP サーバーに振り分けることも可能です。



(2) 振り分け定義ファイル読み込み機能

振り分け定義ファイル (srvdef.txt) は、振り分け処理開始時に自動的に読み込みます。定義ファイルの内容を変更した場合、HTTPDest を再起動することにより変更が処理に反映されます。

(3) コマンド入力機能

HTTPDest は、接続数の確認、通信の強制切断等を行うコマンドを受け付けることができます。

(4) ログ保存機能

コンソールに出力されたメッセージをログとしてファイルに保存することができます。
(メニューより「ファイル」「ログ保存」を選択してログを保存します。)

3、インストール

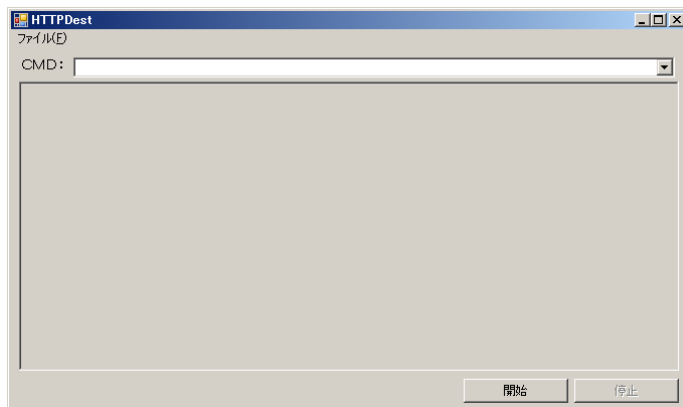
HTTPDest はマイクロソフト .Net Framework の機能を使用しています。よって、.Net Framework が PC にインストールされていない場合（VISTA 以降の OS では導入時、既にインストールされているようです。）HTTPDest 導入前に .Net Framework をマイクロソフトのホームページよりダウンロードし、インストールする必要があります。.Net Framework は Ver2.0 以降であれば使用できます。

HTTPDest のインストールについては、任意のフォルダに実行ファイル（HTTPDestPrj.exe）及び設定ファイル（SRVdef.txt）をコピーするのみです。

4、起動・停止

HTTPDest を起動するとコンソール画面（画面 4－1）が表示されます。（ライセンス認証が済んでいない場合、ランセンス認証コードを入力する画面が表示されます。）画面が表示されたら「開始」ボタンを押下することで HTTP リクエスト振り分け処理が開始されます。

●画面 4－1、HTTPDest コンソール画面



HTTPDest を停止する場合は、以下の手順で操作願います。

- (1) すべてのコネクションを切断するコマンドを投入する。(CLS CONNECT ALL)
- (2) 停止ボタンを押下する。
- (3) 画面右上の X ボタンにて画面を閉じる。

5、振り分け定義ファイル

振り分け定義ファイル (SRVdef.txt) に設定した情報をもとに振り分け処理を行います。
振り分け定義ファイルには SVPT、DEST、THRU から始まる定義情報を記述します。

(1) SVPT

HTTP リクエストを受け付けるポート番号を定義します。定義を省略した場合デフォルトで 80 番ポートが割り当てられます。

定義

SVPT, ポート番号

ポート番号: HTTP リクエストを待ち受けるポート番号を指定する。

定義例

SVPT, 80

(2) DEST

HTTP リクエストの振り分け先を設定します。

定義

DEST,ディレクトリ,振り分け先 IP,振り分け先ポート番号,サービス開始時刻,
サービス終了時刻,サービス提供曜日

ディレクトリ: URL のディレクトリを指定する。前方一致にて振り分け先を判定する。(大文字、小文字は区別します)

振り分け先 IP: 振り分け先の IP アドレスを指定する。

振り分け先ポート番号: 振り分け先のポート番号を指定する。

サービス開始時刻: 振り分け処理を開始する時刻を 0 時からの秒数にて指定する。

サービス終了時刻: 振り分け処理を終了する時刻を 0 時からの秒数にて指定する。(24 時は 24(時間)×60(分)×60(秒)=86400 で指定)

サービス提供曜日: 0(毎日)、1(日曜日)、2(月曜日)、3(火曜日)、4(水曜日)、5(木曜日)、6(金曜日)、7(土曜日)

定義例

DEST,/temp,192.168.1.25,80,0,86400,0

(3) THRU

HTTP リクエストの振り分け先を設定します。

定義

THRU,ディレクトリ,振り分け先 IP,振り分け先ポート番号,サービス開始時刻,
サービス終了時刻,サービス提供曜日

定義例

THRU , /~img , 192.168.0.1 , 80 , 0 , 86400 , 0

(詳細は DEST 定義を参照)

DEST 定義と THRU 定義の相違点は、Web ブラウザからの要求によりコネクションを確立している HTTP とは別の HTTP サーバーへリクエストを振り分ける必要が生じた場合、HTTP サーバーとのコネクションを切断し、新たに別の HTTP サーバーに対しコネクションを確立するのか、またはコネクションを確立している HTTP サーバーに続けてリクエストを転送するのかの違いがあります。

DEST で振り分け先を指定した場合はコネクションを切断し、新たに振り分け先 HTTP サーバーに接続します。THRU で指定した場合はコネクションを確立している振り分け先に続けてリクエストを転送します。どの HTTP サーバーでも返答可能なリクエスト及び、明示的に接続している HTTP サーバーに対してリクエストを転送したい場合 THRU を使用します。THRU 定義を使用した場合はコネクションの再接続を行わない為、レスポンスが向上します。

DEST 定義、THRU 定義ともに条件に合わないリクエストを受信した場合 HTTPDest はリクエストを読み捨てます。条件に合わないリクエストを読み捨てずにデフォルトの HTTP サーバーに転送する場合は以下の定義を付け加えることをお勧めいたします。

DEST,/,IP,PORT,0,86400,0

6、コマンド

HTTPDest は以下のコマンドを受け付けます。

- ・ DSP CONNECT NUM 現在のコネクション確立数を表示します。

実行結果

SVR1001-IConnect Num=x/32000 (x は現在のコネクション数、32000 は
最大接続数)

- ・ DSP OPNSOC NUM 現在のソケット使用数を表示します。

実行結果

SVR1101-ISVR OpnSoc Num=x/y
SVR1102-ICLT OpnSoc Num=x/y
(x:現在の接続数、y:確保しているコネクション数)

- ・ CLS CONNECT ALL すべてのコネクションを強制切断します。

実行結果

SVR1201-ISVR Soc CloseNo= x
SVR1202-ICLT Soc CloseNo= x
(x はソケット番号、強制切断を行ったソケットについて表示)

- ・ SET MSG LEVEL XX ログとして出力するメッセージのレベルを設定する。

実行結果

FRM0001-IMSGLevel=xx

設定値を大きくすると詳細なメッセージが出力されるが、システムへの負荷が大きくなる。(場合によってはシステムの動作が不安定な状態となる。) 障害調査目的以外では極力このコマンドは使用しないようにすること。

●メッセージレベル：メッセージ内容

00:ERROR
10:USER NOTICE
20:CONNECTION START/STOP
30:IP ADRESS/PORT
40:PROSESS INFOMATION
50:SOCKET INFOMATION
60:EXCEPTION
70:SendRcv MSG

7、ライセンス認証及び送金方法、金額について

HTTPDest はシェアウェアです。試用期間経過後（試用期間は初回起動より 30 日間）は送金が必要です。

ライセンス認証は、起動後に表示されるライセンス認証画面にライセンスキーを入力することで行ないます。（画面 7-1）

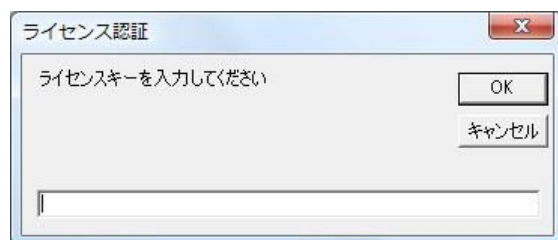
一度ライセンス認証を行なえば以降はライセンス認証画面は表示されません。また、ライセンスキーには有効期限（約 1 ヶ月間）がありますので、ライセンスキー取得後は速やかに認証願います。ライセンスはユーザーに対して発行されます。よってユーザー数分のライセンス購入が必要です。

なお、ライセンスキーは Vector のシェアレジにて送金することにより入手できます。

送金方法：Vector シェアレジ

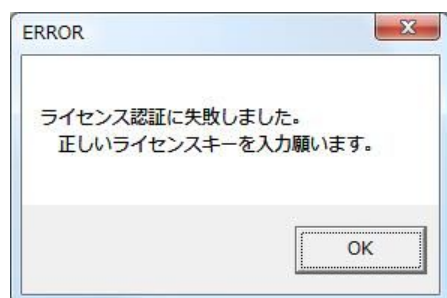
ライセンス料金：¥2,184（手数料、税込）

● 画面 7－1、ライセンス認証画面



ライセンス認証を行っていない場合、または認証を失敗している場合はライセンス認証エラー通知画面（画面 7－2）が表示されます。試用期間経過後は、ソフトウェアが使用不可になります。

● 画面 7－2、ライセンス認証エラー通知画面



8、不具合等の連絡先について

当ソフトウェアにバグ等の不具合を発見した場合、お手数ですが以下の連絡先にメール願います。その際、実行環境（PC 機種、OS 及び適用済みサービスパック、メモリ容量）、発生状況等の情報及び返信先メールアドレスを記載願います。

連絡先	k_kazu17@hotmail.com
ソフトウェア作者	K_KAZU

9、最後に

HTTPDest はマルチスレッド処理を採用しています。Web ブラウザからの要求毎にスレッドを作成し、すべて並列処理を行います。CPU に関しては複数のコアを搭載したものの方が処理的に有利です。

大量のリクエストが上げられるような環境では PC のメモリ、CPU 等の資源使用量に注意を払う必要があります。使用する OS、及び適用しているサービスパックにより資源使用量が異なりますので、稼働環境にて十分なテストを実施した上で使用願います。HTTPDest はユーザーの責任において使用してください。

HTTPDest を使用して発生した損害等については、Vector 及びソフトウェア作者は一切責任を負いません。また如何なる損害賠償等についても一切応じられません。